

平成 2 3 年度食料自給率について

1 食料自給率

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ○ カロリーベース | 39% (前年度と同率) |
| ○ 生産額ベース | 66% (前年度※から 4 ポイント低下) |

※平成22年度の生産額ベース食料自給率について、昨年公表した概算値においては69%であったが、今回公表の確定値において70%となった。

2 主な品目の食料自給率に対する影響

(1) カロリーベース食料自給率の主な変動要因

- | |
|--|
| ○ 小麦については、天候不順の影響により作柄の悪かった前年と比較して、単収が伸びたことから、国内生産量が増加 |
| ○ 米については、東日本大震災直後の一時的な需要増加が落ち着いたことから、需要量が減少 |
| ○ 魚介類については、東日本大震災の影響により国内生産量が減少 |

(2) 生産額ベース食料自給率の主な変動要因

- | |
|--|
| ○ 牛肉については、東日本大震災等の影響により需要が低下し、国産単価が下落したことから国内生産額が減少 |
| ○ 魚介類については、東日本大震災の影響により生産量が減少したことから、国内生産額が減少 |
| ○ 野菜については、前年と比較して天候が安定したことや東日本大震災の影響により国産単価が低下し、国内生産額が減少 |

カロリーベースの食料自給率について

品目	国産熱量	供給熱量	寄与	備考
米	547kcal (▲20kcal)	562kcal (▲18kcal)	▲0.5ポイント	1人1年当たり消費量 59.5kg→57.8kg
小麦	36kcal (+11kcal)	330kcal (▲1kcal)	+0.4ポイント	単収(平年比) 68%→91%
大豆	18kcal (±0kcal)	72kcal (▲2kcal)	0.0ポイント	
野菜	55kcal (+1kcal)	73kcal (+3kcal)	0.0ポイント	
果実	21kcal (±0kcal)	63kcal (±0kcal)	0.0ポイント	
畜産物	65kcal (+3kcal)	396kcal (+6kcal)	0.0ポイント	飼料自給率 25%→26%
魚介類	69kcal (▲4kcal)	109kcal (▲1kcal)	▲0.1ポイント	生産量 ▲48.5万トン(▲10%)
砂糖類	52kcal (±0kcal)	198kcal (▲1kcal)	0.0ポイント	てん菜生産量 +45.7万トン(+15%) さとうきび生産量 ▲46.9万トン(▲32%)
油脂類	11kcal (+1kcal)	341kcal (+1kcal)	0.0ポイント	
その他	66kcal (+1kcal)	292kcal (2kcal)	0.0ポイント	
合計	941kcal (▲9kcal)	2,436kcal (▲11kcal)	▲0.2ポイント	※ラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。 ※()内は対前年増減である。

生産額ベースの食料自給率について

品目	食料の 国内生産額	食料の 国内消費仕向額	寄与	備考
米	1兆8,240億円 (+544億円)	1兆9,243億円 (+997億円)	▲0.1ポイント	
小麦	296億円 (+63億円)	2,864億円 (+329億円)	▲0.1ポイント	
大豆	174億円 (▲5億円)	517億円 (+12億円)	0.0ポイント	
野菜	2兆2,488億円 (▲1,103億円)	2兆8,757億円 (▲234億円)	▲0.7ポイント	国産単価▲5%
果実	7,929億円 (▲108億円)	1兆1,332億円 (▲3億円)	▲0.1ポイント	
畜産物	2兆3,300億円 (▲2,131億円)	3兆9672億円 (▲627億円)	▲1.2ポイント	(牛肉) 国産単価▲12%
魚介類	1兆1,495億円 (▲1,461億円)	2兆3,136億円 (▲207億円)	▲0.9ポイント	生産量▲10%
砂糖類	1,461億円 (▲86億円)	3,269億円 (+80億円)	▲0.1ポイント	
油脂類	1,723億円 (+487億円)	4,602億円 (+927億円)	▲0.1ポイント	
その他	9,466億円 (▲188億円)	1兆2,040億円 (+124億円)	▲0.2ポイント	
合計	9兆6,573億円 (▲3,988億円)	14兆5,434億円 (+1,399億円)	▲3.4ポイント	※ラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。 ※()内は対前年増減である。